

旭川地区の巻

事務局 旭川市立近文小学校

旭川市小学校長会は、市内55校（併置校3校、教育大学附属旭川小学校）の校長で組織されている。

今年度は、転入8名、採用5名、就任1名（附属小）の新会員を迎え4月8日に総会を開催し、活動方針や予算を決定するとともに、新年度役員を選出した。

I 本年度の活動方針

昨年8月の中教審教育課程企画特別部会による「論点整理」では、次期学習指導要領で目指す資質・能力を明らかにし、改訂の方向性を示した。また、道徳の時間については、教科化することによって現場での確実な実施を期している。

各学校においては、全連小研究主題である「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人」の育成はもとより、新しい教育の在り方や新たな教育課題への対応が求められ、校長の責務は一層重大となってくる。

本道では、「北海道教育推進計画」に掲げられている、自立の精神にあふれ夢や希望の実現に挑戦し、ともに支え合いながら心豊かに成長していく子どもたちの育成を目指し、目標達成のため学校経営を推進してきた。

また、本市では、今年「旭川市教育大綱」が示された。学校教育に関わる基本目標1の「次代の担い手が、生き生きと学ぶ教育を推進する」を受け、学校と家庭、地域とが一体となって、新しい教育に向けての積極的な取組が求められている。

本校長会は、教育の「不易」の視点と、「流行」である次代を見据えた先見的なビジョンを明確にし、諸課題の解明に向



けて強いリーダーシップを発揮するよう、「次代を展望し学校改善を確かに実現する校長会」を大目標に掲げてきた。今後も本校長会の要であり両輪である各部と地区校長会の活動を重視し、より一層組織化と充実を図っていきたい。

II 活動の重点

1 心豊かでたくましく生きる児童を育成する創意と活力のある学校経営の推進

- ①教育改革のねらいを踏まえ、経営方針や重点等を明確にした学校経営の充実
- ②学校や地域の特性を生かした創意ある教育課程の充実
- ③心豊かにたくましく生きる力を育てる指導の充実
- ④ゆとりと潤いのある教育環境づくりの充実
- ⑤危機管理意識の確立と機能の充実

2 信頼と秩序に基づく調和のとれた学校経営の推進

- ①学校運営の円滑化と厳正な職務の執行
- ②教職員の特性を生かした信頼関係を基盤とした協働体制の確立
- ③教職員の資質向上を図る各種研修等

への適正な対応

3 会員の協働意識を高める組織強化と福利厚生の実

- ①会員の協働意識の高揚と組織強化
- ②会員の福利厚生の実
- ③全連小、道小と連携した教職員の待遇改善

Ⅲ 各部の活動方針

1 学校経営部

学校経営の実・推進に関する情報提供及び学校課題に関する調査研究についての業務を推進する。

- ①旭川市小学校長会経営研究会の開催
- ②教育情報の提供に関する課題
- ③今日的な教育課題に係わる調査・研究

2 研究法制部

校長の職能向上並びに身分確立に関わる研修、文教、法規等に関する業務を推進する。

- ①上川管内公立小・中学校長教育研究大会の開催に係わる業務
- ②旭川市小・中学校長法制研究大会の開催
- ③研究紀要の発刊
- ④全連小、道小研究大会に係わる業務
- ⑤各地区校長会における研修計画と推進

3 調査広報部

事業遂行、待遇改善等に関わる調査並びに的確な情報の広報活動に関する業務を推進する。

- ①小学校時報、「教育北海道」の発刊

に係わる業務

- ②予算要望書の作成
- ③会報、会誌の発刊

4 組織厚生部

会員相互の連帯の高揚に努めるとともに、会員の福利厚生並びに親睦を通じた組織強化に関する業務を推進する。

- ①組織上の対策活動
- ②人事要望に関する事項
- ③親睦及び福利に関する事業
- ④北海道公立学校教職員互助会関係業務
- ⑤全連小・道小からの実態調査

Ⅳ 役員

会 長	中山 雅文 (朝日小)
副 会 長	水戸 博三 (永山西小)
〃	副島 知子 (日章小)
監 査	岡澤 好弘 (忠和小)
〃	山村志保子 (愛宕東小)
事 務 局 長	福家 尚 (近文小)
事 務 局 次 長	鎌田 優子 (北光小)
〃	川島 政吉 (知新小)
会 計	藪 和幸 (春光小)
学校経営部長	鐘ヶ江義道 (新富小)
研究法制部長	本間 祐一 (高台小)
調査広報部長	佐藤 智昭 (緑が丘小)
組織厚生部長	葦澤美智子 (大町小)
中央地区会長	林 邦子 (東町小)
東部地区会長	富澤 将志 (愛宕小)
南部地区会長	工藤 芳美 (千代田小)
西部地区会長	藤村 護 (向陵小)
北部地区会長	秦 幸雄 (末広小)
新永地区会長	小西 信輝 (永山南小)
神居地区会長	禎島 清幸 (富沢小)
神楽地区会長	井上 淳子 (神楽岡小)